

令和7年度 年間授業計画

教 科：国語 科 目：論理国語 単位数：3

対象学年：第3学年

使用教材	教科書：	新編論理国語（大修館書店）
	補助教材：	新編論理国語学習ノート、新編論理国語学習ノート小説編、常用漢字ダブルクリア、基礎知識BOX

教科（国語）の目標

【知識及び技能】	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
【学びに向かう力、人間性等】	言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目（論理国語）の目標

【知識及び技能】	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標			指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当時数
				話・聞	書	読					
1 学 期	単元	統計資料を活用する	指導項目に対し、次の教材等を活用する。			○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	6
	知識及び技能		指導事項				知識・技能				
	主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深める。		論理的な文章				主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。				
	思考力、判断力、表現力等		教材				思考・判断・表現				
	文章と資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉える。		「量から質の時代へ」				文章と資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えている。				
	学びに向かう力、人間性等		一人1台端末の活用場面				主体的に学習に取り組む態度				
	文章と資料の関係について理解を深めようとする。		小テスト 語句調べ				文章と資料の関係について理解を深めようとしている。				
	単元	統計資料を活用する	指導項目に対し、次の教材等を活用する。			○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	9
	知識及び技能		指導事項				知識・技能				
	主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深める。		資料の読み取り				主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。				
	思考力、判断力、表現力等		教材				思考・判断・表現				
	文章と資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉える。		「若者の海外旅行離れは本当か」				文章と資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えている。				
	学びに向かう力、人間性等		一人1台端末の活用場面				主体的に学習に取り組む態度				
	文章と資料の関係について理解を深めようとする。		小テスト 語句調べ				文章と資料の関係について理解を深めようとしている。				
定期考査（中間考査）/返却と解説								○	○	○	2
単元	比べて読む	指導項目に対し、次の教材等を活用する。			○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	10	
知識及び技能		指導事項				知識・技能					
情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深める。		論理的な文章				情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深めている。					
思考力、判断力、表現力等		教材				思考・判断・表現					
複数の情報を比較・整理しながら検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味する。		「紙の本はなくなるなら」				複数の情報を比較・整理しながら検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味している。					
学びに向かう力、人間性等		一人1台端末の活用場面				主体的に学習に取り組む態度					
情報を的確に比較・整理しながら、筆者の考えを読み取ろうとする。		小テスト 語句調べ				情報を的確に比較・整理しながら、筆者の考えを読み取ろうとしている。					
単元	比べて読む	指導項目に対し、次の教材等を活用する。			○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	11	
知識及び技能		指導事項				知識・技能					
情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深める。		論理的な文章				情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深めている。					
思考力、判断力、表現力等		教材				思考・判断・表現					
複数の情報を比較・整理しながら検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味する。		「情報化と紙の本のゆくえ」				複数の情報を比較・整理しながら検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味している。					
学びに向かう力、人間性等		一人1台端末の活用場面				主体的に学習に取り組む態度					
情報を的確に比較・整理しながら、筆者の考えを読み取ろうとする。		小テスト 語句調べ				情報を的確に比較・整理しながら、筆者の考えを読み取ろうとしている。					
定期考査（期末考査）/返却と解説								○	○	○	2

単元の具体的な指導目標			指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当時数		
				話・聞	書	読							
2 学 期	単元	自己を見つめる	指導項目に対し、次の教材等を活用する。			○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	9		
	知識及び技能		指導事項				知識・技能						
	情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深める。		論理的な文章				自らの考えを論証するために必要な語句の働きを理解し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。						
	思考力、判断力、表現力等		教材				思考・判断・表現						
	複数の情報を比較・整理しながら検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味する。		「補助線を引きながら考える」				文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、要旨を把握している。						
	学びに向かう力、人間性等		一人1台端末の活用場面				主体的に学習に取り組む態度						
	情報を的確に比較・整理しながら、筆者の考えを読み取ろうとする。		小テスト 語句調べ				現代社会の問題を自分ごととして捉え、筆者の主張を主体的に読み取ろうとするとともに、実生活でのさまざまな問いに対して補助線を引いて考えようとしている。						
定期考査（中間考査）/返却と解説								○	○	○	2		
	単元	現代を考える	指導項目に対し、次の教材等を活用する。			○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	8		
	知識及び技能		指導事項				知識・技能						
	論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増やし、語感を磨き語彙を豊かにする。		論理的な文章				論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増やし、語感を磨き語彙を豊かにしている。						
	思考力、判断力、表現力等		教材				思考・判断・表現						
	関連する文章や資料をもとに、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深める。		「政治の本質」				関連する文章や資料をもとに、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めている。						
	学びに向かう力、人間性等		一人1台端末の活用場面				主体的に学習に取り組む態度						
	日本の社会についての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、現代社会についての自分の考えを広げようとする。		小テスト 語句調べ				日本の社会についての筆者の考えを読み取ることに関心をもち、現代社会についての自分の考えを広げようとしている。						
	単元	現代を考える	指導項目に対し、次の教材等を活用する。			○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	16		
	知識及び技能		指導事項				知識・技能						
	論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増やし、語感を磨き語彙を豊かにする。		文学的な文章				論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増やし、語感を磨き語彙を豊かにしている。						
	思考力、判断力、表現力等		教材				思考・判断・表現						
	関連する文章や資料をもとに、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深める。		「こころ」				関連する文章や資料をもとに、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めている。						
	学びに向かう力、人間性等		一人1台端末の活用場面				主体的に学習に取り組む態度						
	日本の社会についての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、現代社会についての自分の考えを広げようとする。		小テスト 語句調べ				日本の社会についての筆者の考えを読み取ることに関心をもち、現代社会についての自分の考えを広げようとしている。						
定期考査（期末考査）/返却と解説										○	○	○	2

令和7年度 年間授業計画 科目（ 論理国語 ）

単元の具体的な指導目標		指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当時数
			話・聞	書	読					
3 学 期	単元	現代を考える	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	〇	〇	次の観点別評価規準に従い評価する。	〇	〇	〇	15
	知識及び技能		指導事項			知識・技能				
	現代の社会問題を理解するために必要な知識を身に付ける。		現代の社会問題			現代の社会問題を理解するために必要な知識を身に付けている。				
	思考力、判断力、表現力等		教材			思考・判断・表現				
	現代の社会問題について、さまざまな観点から情報を収集・整理して、自分の意見や考えを論述する。		「格差」「人口減少」「情報化社会」			現代の社会問題について、さまざまな観点から情報を収集・整理して、自分の意見や考えを論述している。				
	学びに向かう力、人間性等		一人1台端末の活用場面			主体的に学習に取り組む態度				
	現代の社会問題について興味をもち、自分の考えを広げようとする。		小テスト 語句調べ			現代の社会問題について興味をもち、自分の考えを広げようとしている。				
										合計
										105